

放置された人工林を間伐により整備した事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：庄原市

取組のきっかけ・経緯

・基幹林道の上方に位置する森林(山林所有者が複数存在)において手入れが出来ていないものが多いとの要望があった。災害時には土砂の流出も懸念されるため、切捨て間伐を提案して実施。

今後の展開

・基幹林道を利用しての搬出条件が良い造林地が多いため、今回の整備によって将来の収穫での効果が見込まれる。
・複数の所有者に森づくり事業を認知してもらえたため、今後更なる施行の実施に繋がることが期待される。

取組の内容

・事業主体：庄原市
・実施場所：庄原市東城町栗田
・業務委託先：東城町森林組合
・業務量：11.85ha
・業務金額：4,743,490円
・業務期間：令和2年1月13日
～令和2年1月31日

取組後の感想

【良かった点】

・複数の山林所有者に声を掛け、一帯を団地化して効率よく事業を実施できた。
・事業の実施に伴って、複数の所有者が混在する山林の境界を明確化することができた。

【悪かった点】

・今後は山林所有者に保育作業を行ってもらうことになるが、広範囲な施業地のため、山林所有者へ大きな負担がかかる。



田畑に悪影響をもたらす竹林を伐採した事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名：庄原市

取組のきっかけ・経緯

・水田の脇に竹林が繁茂していることで、日照を遮り、またイノシシやアナグマの隠れ場所となっているため、田畑に悪影響を与えていた。高齢者が多い地域であり、対応に苦労していたため今回の事業を実施。

今後の展開

・竹林がなくなったことで田畑への好影響が見込まれるが、竹林の成長は早いので地域住民が定期的に整備を実施していく必要がある。

取組の内容

- ・事業主体：庄原市
- ・実施場所：庄原市東城町久代
- ・業務委託先：東城町森林組合
- ・業務量：0.32ha
- ・業務金額：537,600円
- ・業務期間：令和2年3月2日
～令和2年3月23日



取組後の感想

【良かった点】

- ・地域の基幹道路からよく見える位置なので景観が劇的に良くなったとの声が多数寄せられた。
- ・ツル類が少なく、安全かつ上々な仕上がりで事業を終えることができた。

【悪かった点】

- ・地域住民は高齢者が多いため、定期的な整備が難しい可能性がある。

